

大垣西濃信用金庫

大垣市・金融機関

平成27年度
認定

全職員に個人面談と年1回の家族面談を実施し、家庭や仕事の悩みに対応。育児や介護による離職減少や女性管理職育成など、長く働ける環境づくりに取り組む。

従業員数／男性358名 女性201名 計559名 ※平成30年3月31日現在

悩みに早期対応する支援体制

大垣西濃信用金庫では、2007年から全職員を対象とした年2回の個人面談に加え、家族面談を実施。所属長が家庭訪問を行って、職場では言いづらい悩みなどを把握し、適切な制度活用を促すなど早期対応に努めている。また、

職員の声から、育児短時間勤務を

小学校3年生まで延長したほか、保育園や介護施設と連携して、支援制度拡充を進め、育児・介護による離職ゼロを目指している。

15年からは、女性が仕事を続けやすいよう、産休前や育休中の職員を対象に、「育児休業者復職支援研修」を開催し、復職に向けた情報提供や保育士の子育て相談を行う。参加者達は、「同じ育児中の人と交流でき、不安が軽減した」と笑顔で話す。

さらに、女性管理職育成などキヤリアップにも注力。支店長登用に不可欠な渉外業務について、女性向けの研修プログラムを設け、現在までに25名を渉外係に配属。また活躍の裾野を広げるため、15年からおもてなしの模範となる職員を「マイスター」、また保険業務など特定分野の知識に長けた人材を「コンシエルジュ」に任命している。マイス



育児休業復帰支援研修は3カ月ごとを実施。地元ボランティアの保育士が託児や相談を行い、子連れで参加できる。



育児や仕事の不安を共有し、職員同士の交流を深めている。

ターの山本美代子さんは、「自分の経験を伝えることで、他の職員にも『ここで勤め上げてよかった』と思ってもらいたい」とし、スキルアップに向けた指導に当たる。